

労働と生活の心理学

授業概要

地域医療支援コーディネータを養成するに際し、地域医療に従事する方々のメンタル面にも配慮できる能力を育成することは欠かせないことです。したがって、「労働と生活の心理学」では、ストレスの基本概念や対処法、業務従事者のメンタルヘルスや職場復帰対応などに必要な傾聴法、グループダイナミクスといった社会（集団）心理などについて授業を行います。また、地域医療連携のシステム、効果などについても学習します。

担当教員

神田 秀幸（主担当）	教授・医学部環境保健医学
杉崎 千洋	教授・法文学部社会文化学科福祉社会教室（社会福祉学）
足立 智昭	准教授・教育学部附属教育支援センター（臨床・カウンセリング体験領域担当）

一般目標

1. ストレスの基本概念や対処法を概説することができる。
2. 対人関係や交渉について社会心理学的な説明ができる。
3. 地域医療連携のシステムや効果の概要を説明できる。

授業形式

オムニバス形式を基本とします。

教育内容（講義および演習）と行動目標

1. ストレスと生体反応・医療およびグループダイナミクス（神田）
 - a. ストレスの基本概念や生体反応を中心に解説を行います。そのうえで、医療関係の分野において注意すべき事柄を取り上げ、検討します。
 - b. グループダイナミクスを通し、社会（集団）心理について解説します。

行動目標

- A) 医療関係の分野において、どのような点に注意してストレスやその対処法を考えればよいかを説明することができる。
 - B) グループダイナミクスを通し、社会（集団）心理学的プロセスを概説できる。
2. 職場のメンタルヘルス（足立）
 - a. 司法行政におけるメンタルヘルス対策の動向、働く人のストレスとメンタルヘルス不調の関連を認識できるように検討します。
 - b. 快適職場を目指すための職場マネジメントや働く人のコミュニケーション関係を検討します。

行動目標

- A) 司法行政におけるメンタルヘルス対策の動向と企業のメンタルヘルス対策の実際を踏まえて、組織論の観点からメンタルヘルス対策の立案施行の留意点を説明することができる。
- B) 自身のコミュニケーションのあり方を見直すことができ、自身と相手をエンパワーするコミュニケーション・スキルを実践することができる。

3. 地域医療連携のシステム、効果（杉崎）

- a. 地域医療連携システムの先進事例を示し、その効果や限界の検討をします。
- b. 地域医療連携の構築・運用にかかわる専門職の役割を、社会福祉学の立場から検討します。

行動目標

- A) 地域医療連携システムの先進事例を理解し、効果、限界を説明することができる。
- B) 地域医療連携の構築・運用における専門職の役割を説明することができる。

成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率（3分の2以上）を満たした学生に対し、課題を提示し、レポートの提出等を指示します。そのレポート等について行動目標の達成度を主眼に評価します。

使用テキスト・参考文献

適宜参考文献を紹介します。

教育内容（講義および演習） ※講義は10月以降の予定 日時は別途通知します。

回	授業内容	担当	場所
1	ストレスと医療①	神田	基礎研究棟 6階 セミナー室
2	ストレスと医療②	神田	
3	対人関係や交渉①	神田	基礎研究棟 6階 セミナー室
4	対人関係や交渉②	神田	
5	職場のメンタルヘルス①	足立	教育学部棟 北側4F (エレベーター前) 「学校教育体験 演習室1」
6	職場のメンタルヘルス②	足立	
7	地域医療連携システム	杉崎	法文学部棟 3階 327 (杉崎研究室)
8	先進事例の効果と限界	杉崎	
9	メンタルヘルス不調と職場復帰①	足立	教育学部棟 北側4F (エレベーター前) 「学校教育体験 演習室1」
10	メンタルヘルス不調と職場復帰②	足立	
11	地域医療連携と地域包括ケア	杉崎	法文学部棟 3階 327 (杉崎研究室)
12	地域医療連携と医療ソーシャルワーカー	杉崎	
13	発表①	足立	教育学部棟 北側4F (エレベーター前) 「学校教育体験 演習室1」
14	発表②	神田	基礎研究棟 6階 セミナー室
15	発表③	杉崎	法文学部棟 3階 327 (杉崎研究室)